



研修便り



高知市教育研究所教職員研修班
平成25年11月15日発行 No.37

平成25年度 第1回授業改革実践研修会及び専門・教育課題 選択研修「特別支援教育講座①」

平成25年9月20日（金）

実施会場：横浜新町小学校

研修Ⅰ【公開授業】

授業者：1年3組 平岡 佐由理 教諭

教材名：『だれだか わかるかい？ ーむしのかお』

科学絵本を活用したクイズをすることで、本の楽しさを味わわせ、読書への関心を高めたいです。



【グループ協議】

「花マルくん」（鉛筆の持ち方の補助）や、「しずかにくん」（口を閉じる約束）を用いるなど、日頃から丁寧に細かい支援ができています。



研修Ⅱ【講評・講話】

講師：プール学院大学 専任講師 松久 眞実 先生

授業における特別な支援を要する児童への指導のあり方について

【講評】



- ・「〇〇さん、当てて光線が出ているね！」
- ・「とってもハンサムなこの虫のことを知っていますか？」
- ・「これはサービス問題ですよ！」
- ・「このヒントを言ってもいいかなあ？」

【講話】



上手な言葉の選び方

豊富な褒め言葉

思考を揺さぶる言葉

「ハード面」（教室の構造化・教室の掲示物を減らす・視覚支援・スケジュールを明示する等）だけでなく、「ソフト面」（褒め方・叱り方・信頼関係・尊敬の念）の充実、つまり『魂の部分』を大切にすることが重要です。

特別支援教育を切り口にした授業改善

- ・ 意欲のない子ども → **授業のつかみを大切にする**
- ・ 集中力のない子ども → **教材の吟味を行う**
- ・ 落ち着きのない子ども → **わくわく感をもたせる**
- ・ 授業の見通しを示す
- ・ 視覚支援を行う
- ・ 板書の工夫を行う
- ・ 好意に満ちた語りかけを行う
- ・ トークンシステムを活用する

【トークンシステム】

約束が守れたら、表にトークンと呼ばれるシール等を貼り、それに基づいてごほうびを与えること

【受講者の感想】

- ・ 視覚や聴覚に訴えるような声かけや指導法の大切さを改めて感じた。
- ・ 先生の経験をもとに、教師として大切にしたいこと、明日から使えるスキルを教えていただいた。特に「話し方」については、意識をしてすぐに取り組んでいきたい。
- ・ 日頃から大切な手立てと言われている支援の方法を、ADHD、自閉症スペクトラム障害のある子どもたちの特性と照らし合わせながら教えていただいたのでよくわかった。すべての学級、学校で生かせる内容となっていたので、子どもたちの困難を取り除き、安心して過ごすことのできる学級をつくることを大切にしたいと改めて思った。

専門・教育課題 選択研修「社会人に学ぶ」

平成25年8月9日(金)実施

対象:高知市立小中学校10年経験者, 高知市立学校教職員(希望者)

○ ねらい 広い視野と知見をもち、中堅教員としての自覚と資質能力の向上を図る。

すべてが楽しくなる ー幸せを願い生涯学び続けることー

宇治電化学工業株式会社 西山 彰一 代表取締役社長

◇ 受講者に事前にアンケートをとった内容について、アドバイスをいただきました。

困っていることはありますか？

- 時間に追われ、じっくり時間がとれない。
- 時間があっという間に過ぎること。
- わからないことが多くて戸惑っている。

こんな風に、してみてもうですか？

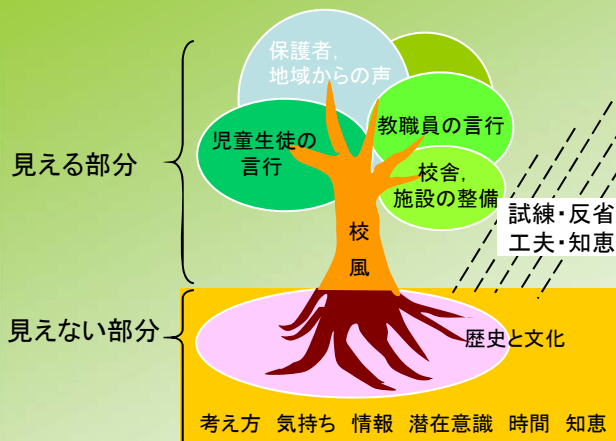
- 時間の使い方と組み立てを考えてみる。手助けを頼む。
- 寝る前の数分でよいので、考える時間をとってみる。
- 新しいことを知るチャンス！ 詳しい人に聞いてみよう。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を心がけてやってみる

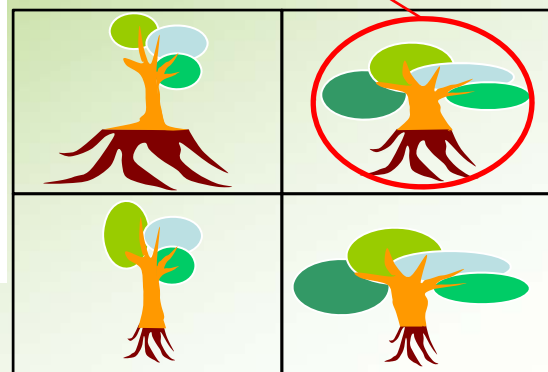
→ 誰にでもできることを徹底してやってみることで、気持ちに余裕が出てくる

自然から学ぶこと

学校を木に見立てると



バランスのとれた木を目指しましょう



立派な枝・葉・花・果実(人気)

幸せのものは、気持ち次第

変えることができること → 自分と未来
変えることができないこと → 過去と他人

志 経営 自分の物語

まずは、1枚の紙に書いてみよう。
何のために働く？学ぶ？生きる？
私はいつ、何をしたいのか？
何が豊かになるのか？



未来は自らが創る

- 1 健康になる
- 2 気持ちよくなる工夫をする
- 3 笑い笑顔を楽しむ
- 4 聞く耳をもつ
- 5 自然に謙虚になる
- 6 夢をもつ
- 7 希望を語る
- 8 感謝し、できるまでやりきる
- 9 愛情をもって事にあたる
- 10 節度を保つ

<受講者の感想>

企業も利益のみ追求するのではなく、世の中や社会、働いている人などすべての人間の幸せを願い、小さな信頼関係を積み重ね、大きな信用につなげていることが分かり、自分たちの仕事と同じであると感じた。過去と他人は変えることはできないが、未来と自分を変えられるという言葉が心に響いた。そのために現在をどのように生きるのか？傍観者ではなく、自分から主体的に関わることがどの仕事をするとしても大切だと思った。

ご意見・ご感想等を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。